

四日市市の自立支援プログラムの取組状況について

三重県四日市市社会福祉事務所保護課
課長補佐 武藤 寛美
就労支援員 池田 陸

1. 四日市市の概要、保護動向、実施体制

○概要 (H20. 9. 1 現在)

(1) 面積 205.53 km² (2) 世帯 125,963 世帯 (3) 人口 313,403 人

○保護の状況と実施体制 (H20. 9. 1 現在)

- (1) 被保護世帯 2,018 世帯 (2) 被保護人員 2,902 人 (3) 保護率 9.3%
 (4) 世帯類型 () 内は全国平均
 高齢者世帯 46.0% (45.0) 母子世帯 9.3% (8.5) 傷病者世帯 19.6% (24.4)
 障害者世帯 17.3% (12.1) その他世帯 7.8% (10.1)
 (5) 実施体制
 SV 3 人 CW 19 人 面接員 2 人 (1 人は CW 兼務) 就労支援員 1 人

○保護の動向

- ・保護率は、全国平均と同様に、引き続き増加傾向にあるが、伸び率は鈍化している。
 ・過去 10 年あまりの保護世帯数の増加に現業員数が追いつかず、慢性的な現業員不足の状態が継続している。

	平 14. 4	平 15. 4	平 16. 4	平 17. 4	平 18. 4	平 19. 4	平 20. 4
保護世帯数	1,444	1,580	1,724	1,808	1,874	1,956	1,991
前年比	+168	+136	+144	+84	+66	+82	+35
保護率	7.2	7.9	8.5	8.5	8.8	9.1	9.2
〃 (全国)	9.4	10.1	10.9	11.3	11.8	12.0	

2. 高校生支援プログラムについて

○導入の経緯

平成 18 年に「中学 3 年生支援プログラム」と共にプログラム開始。

- (1) 当該生徒が、生活保護から脱却するために、やはり高校は卒業しておいたほうが・・・。
 → 就労支援プログラムを実施して、認識
- (2) 毎年、高校生のアルバイトによる収入申告洩れが多数発生していた。
 → 返還金発生防止
- (3) 前年より高校生への生業扶助が開始された。
 → 扶助内容周知の徹底

○支援についての問題点と対応

- (1) 生徒の実態把握が十分行われていない。
 原因：訪問しても本人に会えないことが多い。
 父母を始め、周囲も生徒の状況を把握していない場合がある。
 → ・生徒と面接して修学状況や生活状況を把握する必要性
 ・最低、各学期ごとに 1 度は面接を
 ・夏休み、冬休み等も活用

(2) 就学継続において問題が発生した場合、具体的な支援方法はあるのか。

- ・CWが生徒と接することで、信頼関係を築くこと
・生徒の状況を把握し、問題が発生したときに簡単な助言を行うだけでも・・

(3) 親に問題があるケースも多い。

- ・被保護者の抱える問題点を、良好な就学環境の維持（高校生に限らない）という視点からもとらえる必要があるのでは

○プログラムの実際

- 支援シートより（5ページ参照）

○成果と課題

3. 就労支援プログラムについて

○導入の経緯

- CWの不足を補う対策として
平成16年度 面接員による就労支援開始
平成17年度 8月就労支援員を雇用、プログラム開始

○支援についての問題点と対応

(1) 参加者側の問題点

参加者は就労意欲に乏しい、又は何らかの就労阻害要因を抱えている。

- 支援員の仕事は“就職へのケースワーク”
・機械的に、就職情報を提供していたのでは成果があがらない。
・就労意欲のない人には意欲を喚起。就労に自信のない人には励ましと、細々としたアドバイス。

(2) 福祉事務所側の問題点

就労支援は行わなくても、被保護者からの苦情は少ない。CWにとっては後回しになりがちな仕事である。

- CWが積極的にプログラムを活用するために
・実施におけるCWの負担を少なくした。
①プログラム開始時の手続きの簡素化
②プログラム実施上のCW事務の削減

○プログラムを導入してみて

(1) CWの就労指導への意識が強くなった。

(2) 支援員が異なった立場から接することで、参加者の就労能力や就労意欲がより正確に、把握できるようになった。

(3) 被保護者に関する再発見。

- ・被保護者はCWが思っているほど、生活保護制度を理解していない。
・被保護者はCWの前で、よい子を演じている（場合が多い）。
・傷病や障害以外にも、就労阻害要因は存在する。
外見、やる気、個性

(4) 就労が決定しても辞める（辞めさせられる）人は多い。

- ・要保護状態になる人は、もともと生活基盤が脆弱
・やはり、就労意欲の問題

○プログラム参加者数と支援結果（延人数）

			平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度	
			参加者	就労者	参加者	就労者	参加者	就労者
合 計			91人	32人	150人	98人	156人	95人
年 齢	参加者	就労率						
10 歳代	5%	68%	4 人	1 人	8 人	8 人	7 人	4 人
20 歳代	8%	50%	5 人	2 人	12 人	6 人	13 人	7 人
30 歳代	19%	56%	21 人	9 人	31 人	19 人	25 人	15 人
40 歳代	20%	63%	17 人	6 人	29 人	22 人	33 人	22 人
50 歳代	26%	59%	23 人	10 人	41 人	24 人	41 人	28 人
60 歳代	22%	48%	21 人	4 人	29 人	19 人	37 人	19 人

○類型別参加者数

	18 年度		19 年度	
	人数	比率	人数	比率
自立助長	12 人	8%	17 人	11%
母子家庭	46 人	31%	44 人	28%
若年者	11 人	7%	6 人	4%
高齢者	61 人	41%	65 人	42%
傷病者	7 人	5%	10 人	7%
障害者	13 人	9%	13 人	8%

○支援状況

	17 年度	18 年度	19 年度
来庁面談	256 件	367 件	406 件
電話連絡	231 件	657 件	836 件
文書連絡	296 件	168 件	265 件
ハローワーク同行	141 件	258 件	281 件
ハローワーク訪問	149 件	257 件	365 件
ハローワーク電話	33 件	61 件	75 件
合 計	1,106 件	1,768 件	2,230 件

4. 就労支援プログラムの実際

○就労支援員による就労支援の流れ → 次ページ参照

○事例1より → 18 ページ参照

○就労支援員が心がけていること

(1) 人間関係・信頼関係の構築

- ・文書を送付する際も何か一言加える
- ・参加者が他の用件で来庁した時も必ず声をかける

(2) とにかく粘り強く親身になる

- ・相談助言、指導(叱責)、褒める、激励

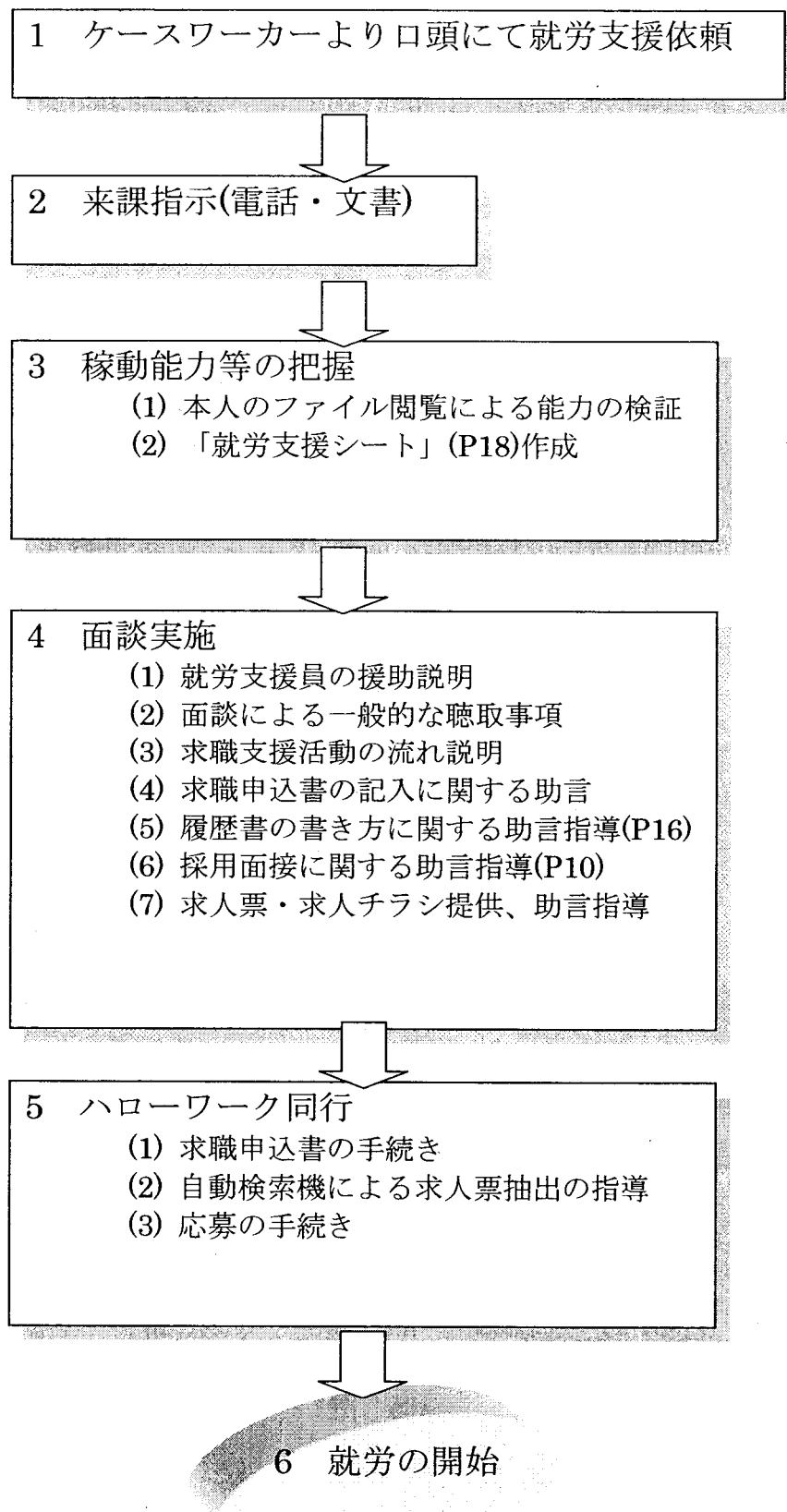
(3) 支援活動は間を置かない

- ・同行訪問や来課面談をすっぽかされた場合、すぐ次の日時を約束
- ・採否決定で不採用になれば激励の上、すぐに行動をおこさす
→対象者の自主性に任せない
- ・電話連絡取れない場合、文書にて来課指示

(4) 健康状態については聞かない

(5) 求職活動状況については随時、担当ケースワーカーに報告

1 就労支援員による就労支援の流れ



高校生支援シート (1年用)

シート作成の目的 → 下記、生徒が3年間の高校就学を終了し、社会人として自立するための一助として、当該生徒の状況把握に努め、問題があれば、その都度アドバイスできるようにする。

生徒名		世帯主		学校・学科	
通学方法	・電車 ・バス ・自転車 ・その他 ()				

○高校生への支援内容や報告義務の説明 (4月中に生徒と親に面接) 面接日 (H . . .)

方法	・面接 ・電話 ・その他 ()	誰に	・親 ・生徒 ・その他 ()
----	------------------	----	-----------------

説明内容

1. 就学のための扶助内容 (月々の定額扶助, 教材費, 交通費など) 2. アルバイト収入の申告義務
3. 授業料減免手続き 4. 各種貸付制度の説明 5. その他 ()

○高校1年時の状況 <方法> ・面接 ・電話 ・その他 ()

クラス名		担任		クラブ活動	
1学期	面接日時 H . . . 時 ~	面接場所			

1. 就学状況 ①ほぼ良好 ②学校を休みがち (週 回程度) ③学校へ登校していない

②・③の場合その理由

朝家を出る時間 _____ 帰宅時間 _____ 好きな科目 _____ 嫌いな科目 _____

2. 希望進路 ①進学 ②就職 (希望の職種 _____)

3. アルバイトについて ・有 ・無 ※有の場合、収入申告させること

有の場合 就労先 _____ 通勤手段と費用 _____

就労日数 週 日 就労時間 時 ~ 時 時給 円 支給日 日 締 日

就労開始時期 _____ 給与の用途 _____

4. 追加・特記事項(生徒の様子や悩み等)や必要な支援内容

2学期	面接日時 H . . . 時 ~	面接場所
1. 就学状況 ①ほぼ良好 ②学校を休みがち(週 回程度) ③学校へ登校していない ②・③の場合その理由 _____ 朝家を出る時間 _____ 帰宅時間 _____ 好きな科目 _____ 嫌いな科目 _____		
2. 希望進路 ①進学 ②就職(希望の職種 _____)		
3. アルバイトについて ・有 ・無 ※有の場合、収入申告させること 有の場合 就労先 _____ 通勤手段と費用 _____ 就労日数 週 日 就労時間 時 ~ 時 時給 円 支給日 日 締 日 就労開始時期 _____ 給与の用途 _____		
4. 追加・特記事項(生徒の様子や悩み等)や必要な支援内容 _____ _____ _____		

3学期	面接日時 H . . . 時 ~	面接場所
1. 就学状況 ①ほぼ良好 ②学校を休みがち(週 回程度) ③学校へ登校していない ②・③の場合その理由 _____ 朝家を出る時間 _____ 帰宅時間 _____ 好きな科目 _____ 嫌いな科目 _____		
2. 希望進路 ①進学 ②就職(希望の職種 _____)		
3. アルバイトについて ・有 ・無 ※有の場合、収入申告させること 有の場合 就労先 _____ 通勤手段と費用 _____ 就労日数 週 日 就労時間 時 ~ 時 時給 円 支給日 日 締 日 就労開始時期 _____ 給与の用途 _____		
4. 追加・特記事項(生徒の様子や悩み等)や必要な支援内容 _____ _____ _____		

高校生支援シート (3年用)

シート作成の目的 → 下記、生徒が3年間の高校就学を終了し、社会人として自立するための一助として、当該生徒の状況把握に努め、問題があれば、その都度アドバイスできるようにする。

生徒名		世帯主		学校・学科	
通学方法	・電車 ・バス ・自転車 ・その他 ()				

○卒業後について、聞き取りと説明 (4月中に生徒と親に面接) 面接日 (H . . .)

方法	・面接 ・電話 ・その他 ()	誰に	・親 ・生徒 ・その他 ()
聞き取り事項	1. 卒業後の進路の確認 2. 就労の場合、自宅か住込みか		
説明事項	1. 進学の場合、生徒のみ保護廃止となること。 2. 自宅通勤の場合、保護費の説明。廃止の場合あり。 3. 自宅外通勤の場合、世帯削除となること。 4. 自動車免許取得が雇用の条件である場合、費用の至急が可能なこと。		

○高校3年時4月の状況

クラス名	担任	クラブ活動
1. 就学状況 ①ほぼ良好 ②学校を休みがち (週 回程度) ③学校へ登校していない ②・③の場合その理由 _____		
2. 希望進路 ①進学 ②就職 (希望の職種, 会社名 _____) (勤務地 ・自宅通勤 ・自宅外通勤)		
3. アルバイトについて ・有 ・無 ※有の場合、収入申告させること 有の場合 就労先 _____ 通勤手段と費用 _____ 就労日数 週 日 就労時間 時 ~ 時 時給 円 支給日 日 締 日 就労開始時期 _____ 給与の用途 _____		
4. 追加・特記事項(生徒の様子や悩み等)や必要な支援内容 _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____		

高校生支援プログラム実施要綱

平成18年5月25日

1. 目的

高校生を世帯員にもつ家庭に対し、通学や就職等に関する支援を行い、当世帯の自立助長を目的とする。

2. 対象者

高校生の子どもとその親

3. 支援実施方法

(1) 子どもが高校1年に進学後、早い時期（4～5月）に自宅訪問し（できれば子どもにも面接）、次のことを確認・指導する。

- ① 子どもアルバイト収入も収入認定の必要があるため、アルバイトをしたら、その収入をかならず申告すること。
- ② 私立高校へ通学している場合、就学資金の調達方法を確認。必要なら母子貸付等の申請方法を指導する。

(2) 自宅訪問時には、かならず子どもの通学状況等を確認し、何らかの問題があれば、その都度、学校等と連携して問題解決のための支援を行う。

通学に要する費用については、以下の扶助を行う。

- ① 基本額 → (月) 5,300 円
- ② 学級費、生徒会費、PTA会費等 → (月) 1,560 円以内（納付の必要を確認して支給）
- ③ 授業料 → 確認のうえ必要なら支給
限度額 (H18年度) 全日 9,500 円 定時 2,500 円
- ④ 交通費 → 最小限度の実費（定期は原則6ヶ月単位で購入）定期券の写しを提出させる
通学用自転車を購入した場合、3万までの実費
- ⑤ 教材費 → 購入リストを提出させ、下記の対象となるものを支給
対 象：全生徒が購入する教科書、副読本的図書、ワークブック、和洋辞典
対象外：実験材料、楽器、課内クラブ活動用具、スナップブック、学習計画ノート

(3) 子どもが高校3年生になったら。

- ① 進級後、早い時期（4～5月）に進路を確認し、進学の場合は子どもに保護費は支給されないことを確認する。
- ② 自宅訪問時、子どもの進路（就職なら就職先）を確認。
- ③ 就職先が決定したら、次の確認・説明を行う。
 - I 職場名、仕事の内容、通勤手段、収入額、自宅通勤かそれ以外か（入寮等）等
 - II 自宅通勤の場合、大まかな4月からの保護費を計算（新規就労控除、未成年者控除あり）し、説明する。廃止になる場合もある。
 - III 自宅から出る場合は、原則、世帯削除となる。
 - IV 自動車免許取得が雇用の条件となっている場合、必要なら雇用主の証明を提出させ、技能習得費支給可。
 - V 就職のため直接必要とする洋服類や履物等を購入した場合、就職支度費（28,000 円以内）として支給可。

4. 評価

実施期間終了後は、対象者の実態把握を行い、目標を達成しているか評価する。

就労支援員活用就労支援プログラム(自立助長重点)実施要綱

平成18年5月25日

1. 目的

市内における被保護世帯のなかで、稼働能力の活用が求められるにも関わらず、長期間就職できずにいる者の数が増加している。こうした課題に対応し、能力活用を助長するため、就労支援員を活用した就労支援プログラムを実施する。

2. 対象者

プログラムの対象者は、次のどちらかに該当し、早急に就労又は転職を必要とする者。なお、対象者は就労・求職状況管理台帳へ登載する。

- (1) 稼働能力がありながら就労していない者
- (2) 稼働能力の活用が不十分で、転職等により収入増が望まれる者

3. 支援ケースの選定

以下の手順で支援ケースを選定する。

- (1) CWは、対象者の中から支援が必要と思われる者に対して、「就労支援制度」について説明。本人の同意が得られたら支援ケースに選定する。なお、理由もなく、支援を拒否する場合は、文書による指示を検討する。
- (2) 就労支援員へ口頭で支援を依頼するとともに、支援員の都合のよい日時に来庁するようケースに指示する。
- (3) 支援員は、CWから支援を依頼されたら、該当者の「就労支援シート」（様式1）をシステム内に作成する。

4. 支援の内容

CWの業務

- (1) 適宜、支援者の求職状況を把握し、支援員と連携して必要な就労指導を行う。
- (2) 以下に該当する場合は、その時点で支援を打ち切る。
 - ① 原則、2ヶ月を経過しても就労できない場合
 - ② 支援者に就労意欲がない等、成果が得られないと判断した場合
 - ③ 傷病等、新たに就労阻害要因が生じた場合
 - ④ 就労を開始した場合
- (3) 前項により支援を打ち切ったら、その後の処遇をSVや支援員と検討し、必要なら定例の就労支援ケース処遇検討会で処遇を検討する。

就労支援員の業務

- (1) 支援を希望するケースと面接し、希望する職種や就労時間帯等を聞き取りながらケースの状況や能力を把握するとともに、面接の受け方や履歴書の書き方等を指導する。
- (2) 必要に応じ、支援ケースとハローワーク等へ同行し、求職活動の支援を行う。
- (3) 関係機関（ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等）と連携して求職情報の収集に努め、支援ケースへ電話や文書にて情報を提供する。
- (4) その他、支援ケースの就職について必要な助言・指導を行う。
- (5) 上記の支援状況については、時系列でシステム内の「就労支援シート」に記載する。

5. その他

CWは、常時3ケース以上に、支援員による就労支援（プログラム内容は問わない）を行うこととする。

いよいよ面接です。どこの会社でも面接をします。それだけ重要なもの
です。少し緊張するかもしれませんが、心配はいりません。お互いに相手
のことをよく知ることができるよい機会とってください。相手方は、あなた
について短時間でたくさんを知ろうとします。あなたも知りたいこ
とがあれば、きちんと質問しましょう。

1. 面接準備のチェックポイント

① 服装について

まず、清潔であることが第一です。

相手に不快な印象を与えないよう、服装、身なりに気配りしましょう。

② 持ち物について

紹介状 履歴書 印鑑 筆記用具 面接先の地図

③ その他

面接場所、連絡先はわかっていますか。指定された時間のだいたい10
分前ぐらいに着く程度の余裕が必要です。道順及び時間を事前にチェック
しておきましょう。もし、遅れてしまいそうな時は早めに電話連絡をして

「何時何分までに行けます。」とハッキリと言いましょう。

2. 面接のチェックポイント

① 相手の顔を見て話そう

ほとんどの採用担当者は、一番初めに目を見ろと言っています。ですから

面接場所に入ってもキョロキョロしたり、相手方と目が合ってもそらしたりしないよう心がけましょう。

② 受け答えはハッキリと

相手の質問に対しては、ハッキリとした口調で簡単に答えましょう。

③ 自分を売り込もう

面接は相手^{ひょうか}を評価する重要な^{じゅうよう}ものです。「是非働きたい」という意欲^{いよく}が相手に伝^{つた}わることが全^{すべ}てであり、多少のハンディもやる気で克服^{こくふく}できるものです。自分のことを高く評価^{ひょうか}してもらうためには、自己^{じこ}アピールも必要^{ひつよう}です。この会社に入り^{せつきよくてき}たいという積極^{しせい}的な姿勢^{たいど}を態度^{たいど}やことばで理解^{りかい}してもらえよう心がけましょう。

面接での最初と最後の挨拶！

受付での挨拶

はっきりと大きな声で『ハローワークからの紹介^{しょうかい}で面接にまいりました○
○です』と、挨拶^{あいさつ}をする。

最初の挨拶

1. 部屋^{へや}へ案内^{あんない}されて、面接^{めんせつ}の担当^{たんとうしゃ}者^{しや}が見えたら席^{せき}から立^たって『お忙^{いそが}しいところよろしくおねがいします』と、挨拶^{あいさつ}をする。
2. 面接^{めんせつ}の担当^{たんとうしゃ}者^{しや}に『ハローワークの紹介^{しょうかい}状^{じょう}と履^り歴^{れき}書^{しょ}です』と^いって渡^{わた}す。

最後の挨拶

1. 『大^{たい}変^{へん}お忙^{いそが}しい時間^{じかん}に面接^{めんせつ}いただきありがとうございました』
2. 『失^{しつ}礼^{れい}します』と、挨拶^{あいさつ}をする。

面接で聞かれることが多い質問事例！

面接では次のような質問を受けることが多いようです。

答えにとまどう質問もあると思いますので、あらかじめ答えを**かんが**えておくようにしましょう。

1 『なぜ高校に行かなかったのですか？』『なぜ高校を**ちゅうたい**したのですか？』

- ★ 現場の仕事などでは、必ずしも高卒の**がくれき** **もと**を求めています。

自分の意志でしっかり**えら**んだ結果であることを伝えるのが良いでしょう。

母も苦勞していますので、自分の力を**しゃかい**でためしてみようと思いました

2 『前の仕事から〇〇ヶ月空いていますが、この間は何をしていましたか？』

- ★ 採用する方は数ヶ月**しゅうろう**をしていないと、**けいぞく**して仕事ができるかどうか

か**たし**かめるため質問します。

子どもが小さく**あ**保育園も空いていなかったで、家で**いくじ**育児をしていました

- ★ 病氣療養などが理由の場合には、**たいりよくてき** **はたら** **かき** **しつもん**に繋がります。

3 『健康状態は大丈夫ですか？』

- ★ 働く**たいりよく**があるかは、**じゅうよう**なポイントです。

病氣が**かいふく**したことで、ヤル気があることを**きょうちよう**強調するのがよいでしょう。

医者からも働いて大丈夫だと**しんだん**診断してもらいました

今まで**やす**休んでいたぶんも**がんば**頑張ろうと思います

4 『通院が必要ですか？』

- ★ 通院で仕事に**めいわく**迷惑がかからないか聞かれることがあります。

- ★ 通院をしながら働いている人は、たくさんいます。勤務時間外に通院

出来る病院に変わることなど検討して見ましょう

今は2週間に1回薬をもらいに行っています。休みの日に行くつもりです

- 5 『お子さんが小さいようですが、病気の時など見てくれる方がいますか？』

- ★ 小さな子どもがいる場合、風邪などで休みがちのため、就労にハンディ

キャップとなっているようです。なるべく職場に迷惑をかけないようにすることを伝え、それをカバーするヤル気を見せると良いでしょう。

近くに住んでいる母や、同じ団地に住んでいる方が、子どもをかわい

がってくれていますので、何かの時に預かってもらえます

子どもの寝顔を見ると、頑張ってる働こうという元気がわいてきます

- 6 『残業や休日出勤かありますが、大丈夫ですか』

- ★ もちろん制限の少ない方が、採用に有利ですが、保育園の利用時間などやむをえない制限があるときには、ちゃんと説明しておきます。

保育園が〇時から〇時までなので、〇時ぐらいまでなら大丈夫です

- 7 『前の会社を辞めたのはどうしてですか』

- ★ 対人関係に問題がある人ではないか、うまくやっけていける人かをたし

かめるために聞かれます。このため、前の職場の悪口はダメです。

- ★ 前向きな理由で、転職を考えたことを強調してください。

生活するには収入が低かったからです。もっと働きたいと思いました

人が好きなので、お客さんと直接に接する仕事につきたいと思いました

体を使う仕事の方が自分に合っていると思ったからです

8 『どうしてこの会社を選んだのですか』

★ よく聞かれる質問です。

スーパーや警備会社など、数あるなかでどうして選んだかを、正直に答えてよいでしょう。(あくまで前向きに)

家から近く、保育園の送り迎えに便利だからです

給料が高く、働きがいがあると思ったからです

このスーパーを利用していますが、店員さんの感じが良く、気持ち良く働けそうだからです

社会保険があり、安心して働ける会社だと思ったからです

× 【いけない例】

勤務が週3日で、楽そうだからです

9 『この仕事の経験はありますか』

★ もちろん経験者は有利になります。少しでも関係のある仕事についてたことがあればアピールを。未経験でも、性格的に向いている、やる気があることなどを前面に押し出しましょう。

初めてですが、みなさんに教えてもらいながら、一生懸命やります、一日

も早く慣れるよう頑張ります

〇〇は初めてですが、前の会社で△△をやったことがありますから、その

経験が生かせると思います

今回は初めてですが、自分で言うのもおかしいですが真面目な方なのでコ

ツコツとやる仕事に向いていると思います

10 『この仕事は〇〇などがあり、きびしい所もありますが、やれますか』

★ どの仕事にも^{きび}厳しさはあります。

答えはひとつ「^{がんば}頑張ります」です。

ここで少しでもとまどう^{ようす}様子があれば、ヤル^{うたが}気を疑われます。

仕事ですから、^{きび}厳しいこともあることは、^{かくご}覚悟しています

小さい子どももいますから、子どもの^{ぶん}分まで^{いっしょうけんめい}一生懸命働くつもりです、

そのためには^{しんぼう}たいがい^{しんぼう}のことは、辛抱できると思います

病気^たその他で休んでいた^{きかん}期間もありましたが、みなさんに^{おし}教えて^{いただ}頂いて早

く^な慣れて^な今までの分も^と取り^{かえ}返すつもりで^{がんば}頑張ります。